

令和5年度 群馬県退職校長会の概要

1. 会の沿革

1965年(昭和40年)7月11日前橋市立桃井小学校において設立総会を開催した。会の名称は、群馬県の形である大空に舞う鶴の姿を表象して「群馬鶴青会」と名付けた。発足時の会員数は119名であった。発足と同時に同年6月10日に結成された全国連合退職校長会に加盟した。その後、全連退との関係から昭和45年5月の総会において「群馬県退職校長会」と改称された。

また、平成28年度には、関東甲信越地区退職校長会連絡協議会群馬大会を開催し、研究協議題「存在感ある退職校長会を目指して」の下に研究協議を行った。

今年度は創立58周年を迎え、5月1日現在の会員数は1,585名である。

2. 本年度の活動方針

— 社会から期待される存在感のある退職校長会に —

群馬県は、第3期群馬県教育振興基本計画(2019年度～2023年度)において、基本目標「たくましく生きる力をはぐくむ～自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う～」とし、それを具体化するために、「生涯にわたり一人一人が持つ個性や能力を伸ばし、可能性を育むために、自ら学び、自ら考える力を育成する視点」と「誰もが互いに多様性を認め合い、共に支え合う社会をつくる視点」の2つの視点を設定している。

本会は、「会員相互の連携・親睦を図り、教育の振興に寄与すること」を目的として1965年(昭和40年)に発足し、今年度は創立後58年を迎える。

国や県において、新しい時代に対応した教育振興施策が推進されていることを踏まえつつ、本会は会則に則り、次に掲げる基本方針と各部・委員会の活動の重点等に基づき、社会から期待される存在感のある退職校長会をめざし活動を推進する。

3. 基本方針

- 1 本会目的の具現化に向けて、支部相互の連携を一層密にして支部と一体となって活動を推進する。
- 2 学校・家庭・地域社会への教育支援活動及び生涯学習の振興を積極的に推進する。
- 3 関係諸団体との連携強化の下に「ぐんま教育の日」推進大会を開催し、市・町・村「教育の日」制定・推進に努める。
- 4 令和7年度の創立60周年を契機に本会が一層充実発展するよう、記念事業の準備を開始する。
- 5 全国連合退職校長会及び関東甲信越地区退職校長会との情報交換を密にし、会員へ資料提供するとともに会員の連携強化に努める。

4. 活動の重点

1 組織整備・運営の活性化・福利厚生の実現

(総務部)

- (1) 定期総会と理事会の企画・運営に努める。
- (2) 本部・理事会と各支部との連携強化に努める。
- (3) 各部、委員会との連絡・調整を図る。
- (4) 各支部の組織及び事業内容等の情報収集・提供に努める。
- (5) 群馬県教育委員会・現職校長会との連携強化に努める。
- (6) 慶弔規程や福利厚生の円滑な運営に努める。
- (7) 年度末に役職定年時校長等へ祝意を表すとともに本会への勧誘を活発に行い、さらに人脈を生かして新入会員の確保に努める。

- (8) 新任校長へ祝品を贈って祝意を表すなど、本会の加入促進のための活動や広報活動に努める。
- (9) 令和5年度版『新入会員名簿』を作成し、全会員に配付する。
- (10) 令和7年度創立60周年記念事業及び令和8年度関ブロ群馬大会の準備を始める。

2 会員相互の連携・親睦、教育支援活動の積極的な推進 (事業部)

- (1) 実践発表、講話、現地研修会などの充実した研修会を開催し、会員相互の連携・親睦を図る。
- (2) 令和5年度の各部・委員会や支部の活動報告書「NenRin」第22号を編集・発行する。
- (3) 研修会及び「NenRin」発行を通して、学校・地域社会の教育活動の推進及び同好会やクラブ活動の奨励に寄与する。

3 広報活動の改善・充実 (広報部)

- (1) 会報「群馬県退職校長会だより」を年2回発行する。
- (2) 会員の寄稿「生き生き人生」や会員の活動、動静等を積極的に掲載する。
- (3) 「学校は今」として、県下小・中学校現場の情報を掲載し、教育の現状を紹介する。
- (4) 研修・教養コーナーとして、県内の遺跡や文化・自然遺産とそれに関わる人物を紹介する。
- (5) 「群馬県退職校長会だより」を会員及び現職校長、県市町村教育委員会等に配付する。

4 「ぐんま教育の日」の推進及び市町村「教育の日」制定の推進 (教育の日委員会)

- (1) 群馬県教育委員会、(一財)群馬県教育振興会・関係諸団体等との連携の下、各支部と共に「教育の日」の推進に努める。
- (2) 各支部において「教育の日」に関する共通理解を図るとともに、関係団体等への啓発に努める。
- (3) 「教育の日」未制定市町村に要望書を提出するとともに、各支部と連携しその市町村教育委員会への訪問に努める。
- (4) 「ぐんま教育の日」推進大会を開催し、教育に対する県民の意識の高揚を図るとともに、今後更なる充実に努める。
- (5) 「教育の日」全国制定・実施状況等や市町村「教育の日」制定に向けた啓発資料等の作成を開始する。

5. 役員

会 長	立見 康彦	会 計	山崎 貞幸
副会長	清水 弘己 (総務部長)	監 事	岡田 富夫 (中毛)
	鹿沼 成夫 (事業部長)		横倉 興一 (西毛)
	田村 悦司 (広報部長)		武藤 哲也 (東毛)
	串田 昭光 (教育の日委員長)	理 事	各郡市支部より各1名 (13名)
書 記	金井修一郎 (総務副部長)	事務局	入山 利行 (事務局長)
	中村久和子 (事業副部長)		松村 正一 (事務局員)
	金子 悦夫 (広報副部長)		
	中村 正 (教育の日副委員長)		

事務局 〒371-0035 前橋市岩神町三丁目1-1 前橋市総合教育プラザ2階
 電話・FAX 027-235-1574 E-mail t-0017@bi.wakwak.com